

## 学位論文審査結果の要旨

博士課程 甲	第 号	氏 名	日野浦 拓之
審 査 委 員		主 査 氏 名	高宮 孝悟
		副 査 氏 名	石田 康
		副 査 氏 名	中原 桂子
[論文題名]			
PER3 polymorphisms and their association with prostate cancer risk in Japanese men (日本人男性における前立腺がん と PER3 時計遺伝子多型 との関係) Journal of Preventive Medicine and Hygiene, 62:489-495, 2021			
[要 旨]			
<p>睡眠障害は、乳がんなどの発癌に関与することが示唆されている。そこで発表者は、睡眠障害と関連が深い概日リズムを形成する時計遺伝子の一つである period (PER) に着目し、そのうち PER3 遺伝子で報告されている“一塩基多型”と“遺伝子内の繰り返し配列の数”が前立腺癌の発症と関連あるかを対象者 122 名、前立腺患者 83 名にインフォームドコンセントと実施した上で検討した。</p> <p>方法として一塩基多型の検出には、PCR-RFLP 法、繰り返し配列の検出に対しては、VNTR 法を用いた。</p> <p>一塩基多型には、野生型であるシトシン(C/C)型、シトシンがチミンに変化した T/T 型、さらにこの両方が混在する C/T 型が存在する。</p> <p>結果として C/C 型に比し、T/T 型では前立腺癌の発症が抑制されることを見出した。さらに T/T 型では喫煙による前立腺癌発症も抑制した。</p> <p>繰り返し配列は、1 遺伝子内に 4 から 5 個の同じ配列の繰り返しがみられるが、繰り返し配列の数と前立腺癌発症との関係は見出せなかった。</p> <p>本発表は、時計遺伝子の一つである PER 遺伝子の一塩基多型と前立腺癌発症に関する今後の診断・分子メカニズムの解明の糸口となる研究であり、学位論文に値すると判断した。</p>			